

令和3年度津山市生涯学習関連事業実施報告

基本目標	基本施策	事業数
I 学ぶ 学びを通じた自己実現	1 生涯学習の啓発推進と学習機会の充実	51件
II 活かす 学んだ知識や経験の活用	2 学びを支え、つなげる人材の育成・活用	9件
III つなぐ 人、地域、世代を結ぶつながりづくり	3 生涯学習を通じた持続可能なまちづくり	47件
IV 創る 希望あふれるまちづくり	4 生涯学習を推進するための基盤整備	8件
	5 希望あふれるふるさと津山の創造	17件
合 計		132件

事業の評価結果	事業数	%
○ (達成している 71%以上)	90件	68.2%
△ (一部達成している 31~70%)	18件	13.6%
× (達成していない 30%以下)	24件	18.2%

事業番号	基本施策	事業名	事業目的・事業内容等	主催者	実施年月日	実施場所	対象者	R3計画 参加予定人数 (評価基準値)	R3実績 (参加人数等)	担当部課室名	事業評価 (達成度)	備考等
1	4	津山市、美作大学及び津山高専との包括連携協定に基づく協力	3者の経営資源を相互に活用する事業を検討及び実施し、単独では達成できない事業効果を生むことを目的とする。これにより、地域産業の振興や市民の文化、学術レベルの向上に繋げるもの。	津山市・美作大学・津山高専	—	—	学生・一般市民	—	—	みらいビジョン戦略室	△	各部署が美作大学及び津山高専と協力するとともに、代表者会議や部会を通じて事業の検討と評価を実施。
2	3	自主防災講座	災害による被害を軽減するためには、個人での備え(自助)や助け合い(共助)が重要であり、講話を通じて防災意識の高揚を図る。	津山市	随時	各町内会公会堂等	地域住民	20～50人/回	19回 843人 (44人/回)	危機管理室	○	市の対策本部が示す「イベント開催指針」に従って実施。
3	1	さん・さん祭り	男女共同参画社会について考える場を提供するとともに、その実現をめざして活動する登録団体の交流と活動発表を実施する。 合わせて男女共同参画センター「さん・さん」が実施する事業の紹介とPRを行う。	津山市	—	—	一般市民	500人	—	人権啓発課	×	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
4	1	「さん・さん」セミナー	男女共同参画に関する現代的な課題に対応した学習機会の提供を行う。 自分自身について考え、自己決定を促すための講座等を開催する。	津山市	①11月21日 ②2月12日～ 2月25日 ③2月21日～ 3月6日 ④3月13日	中央公民館、オンライン配信	一般市民	20人/回	21人/回 (4回)	人権啓発課	○	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、募集定員の減員、会場の変更、対面式からオンライン配信への変更などの対策を講じて実施した。 ①についてはアンケート実施(満足度85%)
5	1	「さん・さん」おんな・おとこ塾	男女共同参画に関する現代的な課題に対応した学習機会の提供を行う。 実習などの参加型の講座を開催する。	津山市	—	—	一般市民	10人/回	—	人権啓発課	×	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 (実習などの参加型の講座であるため)
6	1	人権を考える市民のつどい	人権尊重の理念についての普及・高揚を図ることを目的に、毎年度開催している。 人権週間(12/4～12/10)	津山市・津山市教育委員会	11月28日	グリーンヒルズ津山リージョンセンター	一般市民	100人/回	150人/回 (1回)	人権啓発課	○	予定どおり実施 アンケート実施(満足度93%) 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、定員を少なく設定し、参加申込みも事前に受けて開催したが、当日参加の方が予想以上に多く、席を増設して開催した。開催にあたっては、換気の回数を増やし、増設した席の間隔についても狭めることなく、感染症対策にも注意しながら開催した。
7	1	人権教育出前講座	すべての場に、人権が自然な形で溶け込んでいくような社会を作り上げるために、企業や団体、町内会の集まり等へ、講師の派遣を行う。	津山市	随時	市内一円	一般市民	250人	210人 (35人/回) (6回)	人権啓発課	○	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により予定より申込みが少なかったが、予定していた人数の84%を達成できた。

事業番号	基本施策	事業名	事業目的・事業内容等	主催者	実施年月日	実施場所	対象者	R3計画 参加予定人数 (評価基準値)	R3実績 (参加人数等)	担当部課室名	事業評価 (達成度)	備考等
8	1	ひと・ふれあい講演会	人権について正しい理解を深めるとともに、人権尊重の理念についての普及・高揚を図ることを目的に、3年毎に開催している。	津山市	12月12日	グリーンヒルズ津山リージョンセンター	一般市民	100人/回	100人/回 (1回)	人権啓発課	○	予定どおり実施 アンケート実施(満足度95%) 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、定員を少なく設定し、事前参加申込みの段階で断る等して参加人員を制限して開催した。
9	1	「津山市史だより」刊行事業	市史編さん事業の進捗状況の報告や、執筆者による調査研究の最新情報を提供することにより、市民の学習に資するもの。	津山市	年3回発行(8月・12月・3月)	市史編さん室	成人	3回	1回	市史編さん室	△	原稿執筆・編集等の状況により、年間3回の刊行予定をページ増のうえ年1回に変更した。
10	1	「津山市史研究」刊行事業	市史編さん事業における最新の調査・研究成果の発表や新発見資料の紹介によって、事業の進展を市民に周知し、よりレベルの高い郷土史学習に資するもの。	津山市	年1冊	市史編さん室	成人	1冊	1冊	市史編さん室	○	予定どおり刊行
11	3	新成人への選挙啓発	津山市成人を祝う会で選挙啓発パンフレット等を配布し、選挙や投票することの大切さについて理解を深め、意識の高揚をはかる。	選挙管理委員会	成人を祝う会 開催日当日	成人を祝う会会場	新成人	850人	673人	選挙管理委員会事務局	○	1/9(日)、挙行の津山市成人を祝う会にて来場者673名に選挙啓発パンフレットを配布した。
12	3	高等学校への選挙出前事業	選挙権年齢が18歳になったことで高校3年生も投票することが可能となった。これに伴い、選挙管理委員会の職員が各学校に赴き、講義や模擬投票を行う「選挙出前授業」を実施することで、主権者教育の推進を図る。	選挙管理委員会	7月7日	市内高等学校	高校生	250人	60人	選挙管理委員会事務局	△	美作高校の美作大学進学コースの2.3年生約60名を対象に実施したものの、全3年生を対象に実施する予定だった「選挙出前授業」は市長選挙投票日の直前しか予定がたたず、中止とした。
13	1	租税教室	地方税関係機関と国税関係機関が協力し、税務署管内市町村の租税教育の推進と充実を図るため、小中学校へ税務職員を派遣し租税教室を実施するもの。	津山税務署管内租税教育推進協議会	6月10日 10月15日	加茂小学校 広野小学校	6年生 6年生	50人	21人 26人	税務部 税制課	○	今年度、津山税務署管内租税教室推進協議会から本市へ割り当てられた市内2小学校の6年生への租税教室については、予定どおり実施。
14	5	水の学校	小学生に市内の河川で水生生物や水質の調査を体験させるとともに、水環境への関心を高め水質汚濁防止を図る。	津山市	8月	宮川	小学生及び保護者	15人	15人	環境生活課	△	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため中止し、参加予定者に水質検査キット等を配布した。

事業番号	基本施策	事業名	事業目的・事業内容等	主催者	実施年月日	実施場所	対象者	R3計画 参加予定人数 (評価基準値)	R3実績 (参加人数等)	担当部課室名	事業評価 (達成度)	備考等
15	5	森の学校	市民が、森で生物観察、間伐、炭焼きなどの活動を体験できる機会を提供し、森林資源と環境への関心を高め、山林の保全を促す。	津山市	—	久米山	小学生及び保護者	20人/回	—	環境生活課	×	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
16	3	親子エコフェスタ2021	地域における環境問題や地球温暖化防止活動について考え、環境保全意識の高揚を図る。	親子エコフェスタ実行委員会	1月	アルネ津山、ソノオ一番街	小学生及び保護者	500人	不明	環境生活課	△	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、展示のみ実施
17	3	地域交流促進事業	各種教室講座を開催し生涯学習の機会の提供に努め市民相互の交流促進を図る。 【講座内容】 健康体操教室、ヨーガ教室、料理教室、手芸教室など	津山市・各会館	随時	福岡会館 加茂中原会館 公郷会館 大久保会館 柳会館	一般市民	4,000人	3,549人	生活福祉課	○	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため会館の利用停止期間や、料理教室の自粛により参加人数は増加しなかった。
18	2	ふれあい作品展	障害者(児)が、絵画、作品等の作成を通じて創作の喜びを味わい自らの障害を克服する勇気と能力を育てる。あわせて社会の障害に対する正しい認識を深める。	ふれあいスポーツ大会実行委員会	12月6日～10日	市役所市民ホール	津山地域の障害者・障害児・その家族ボランティア・福祉関係者・一般市民	500人	500人	障害福祉課	○	予定どおり実施(新型コロナウイルス感染症対策としてスタッフを配置せず実施)
19	2	ふれあいスポーツ大会	三障害者合同でスポーツ大会を開催。ボランティアとの交流により障害者に対する知識・理解を深める。	ふれあいスポーツ大会実行委員会	—	—	—	—	—	障害福祉課	×	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
20	2	ふれあい村	三障害者合同で障害者と市民とのふれあいの場を設定。障害者に対する正しい理解を深める。	ふれあいスポーツ大会実行委員会	—	—	—	—	—	障害福祉課	×	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
21	3	津山市認知症サポーター養成講座	認知症に対する正しい知識を持ち、地域等において認知症の者や市の家族を支援する認知症サポーター等を養成することにより、認知症の者やその家族が住み慣れた地域で安心して暮らし続ける地域づくりを推進する。	津山市地域包括支援センター	随時	各町内会の公会堂等	一般住民	600人	642人	高齢介護課	○	感染対策に留意しながら実施。感染拡大の状況により中止となったものもあったが、予定人数の養成ができた。

事業番号	基本施策	事業名	事業目的・事業内容等	主催者	実施年月日	実施場所	対象者	R3計画 参加予定人数 (評価基準値)	R3実績 (参加人数等)	担当部課室名	事業評価 (達成度)	備考等
22	3	めざせ元気!!こけないからだ講座	介護予防や閉じこもり防止のため、各町内会の公会堂を単位として講座を実施する組織を育成し、高齢者がいつまでも住み慣れた地域で顔なじみの人たちとともに自分らしくいきいきと生活を送ることが出来るようにしていくことを目的として実施する。	高齢者を中心とした地域住民	毎週1回	各町内会の公会堂等	高齢者等	4,000人	3,176人	高齢介護課	○	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、活動を休止する地区もあったが、それぞれの地区で感染予防対策を行い工夫しながら活動を継続した。
23	3	ブックスタート事業	本との出会いを通じ、乳幼児親子のふれあいを深めることをめざす。	津山市	年24回(乳児健診実施時)	「津山すこやか・こどもセンター」健診室	乳児親子	700人	730人	子育て推進課 健康増進課 図書館	○	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、密になる読み聞かせや説明等は省き、本やブックリストなどの配付を行った。
24	2	ファミリー・サポート・センター運営事業(子育てサポート講座等)	サポート活動・子育てのための情報提供・知識・技術習得のため。	津山市	10月13日 3月20日	男女共同参画センター「さん・さん」他	ファミ・サポ会員及び一般市民(社会人・高齢者)	40人	25人	子育て推進課	○	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、募集定員を減らして開催。 10/13(水)、3/20(日)に開催、合計25人参加(新型コロナウイルスの拡大を受け、1講座を中止とした) 子育てに関する身になる話が聞けて良かったと参加者の満足度は高い。
25	3	ファミリー・サポート・センター運営事業(クリスマス交流会等)	会員間の親睦と一般市民向けファミリー・サポート・センター事業の周知のため	津山市	7月10日 3月13日	男女共同参画センター「さん・さん」他	ファミ・サポ会員及び一般市民(乳幼児・小学生・社会人・高齢者)	30人	44人	子育て推進課	○	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、募集定員を減らして開催。 7/10(土)、3/13(日)に開催、合計44人参加(新型コロナウイルスの拡大を受け、1交流会を中止とした) イベントを通じて交流を深めることができた参加者からは好評であった。
26	3	ノルディックウォーク体験	第2次健康つやま21計画に基づき、身体活動・運動の領域において健康情報を気軽に入手でき、身近に運動できる仲間が増加し、運動を習慣的に行う市民が増えることを目的に、ノルディックウォーク教室を開催する。	津山市	市民から申し込みがあり次第、順次開催	市民が希望する場所にて開催	津山市民	各回5人以上	33人	健康増進課	○	3グループ計33人に実施。ノルディックウォークの効果と、体験会を行った。
27	3	栄養教室	健康づくりへの関心を高め、地域の食生活改善や健康増進を推進するリーダーの養成講習として開催。 ・講演、体験学習	津山市	年4回程度	津山市中央公民館	栄養委員	1回あたり10名程度	114人	健康増進課	○	3回、延114人が参加。健康づくりのための運動体験、食品ロス削減や食品衛生についての講話を実施した。
28	2	津山市人づくり事業	津山地域の若手経営者、後継者候補、経営幹部の方などを対象に、経営的視点を養い、地域を担うリーダーを養成することを目的とする経営能力開発講座をはじめ、産業人材の育成を図る「つやま産業塾」を運営する。	津山市人づくり事業運営委員会	6月18日 7月9日 7月30日 8月27日 9月17日 10月15日 11月19日 12月17日	津山まちなかカレッジ等	津山市民あるいは、津山市内の企業の従業員等	産業塾19人/回 市民公開講座80人	産業塾20人/回 市民公開講座80人	みらい産業課	○	リモート併用により実施

事業番号	基本施策	事業名	事業目的・事業内容等	主催者	実施年月日	実施場所	対象者	R3計画 参加予定人数 (評価基準値)	R3実績 (参加人数等)	担当部課室名	事業評価 (達成度)	備考等
29	5	津山まなびの鉄道館	津山に遺された鉄道遺産を後世に伝えて行くことにあわせて、鉄道の成り立ち、社会や地域とともに発展してきたあゆみ、仕組みの変遷について紹介し、社会や地域の発展と鉄道との関わりについて学ぶことを目的とする。	津山市観光協会	通年	津山まなびの鉄道館	一般市民	61,000	36,759	観光振興課	○	新型コロナウイルス感染症の影響により、臨時休館(4/21～5/31)や入館者の減少のため、評価基準値を変更し、実施した。 参加予定人数61,000人→31,700人
30	1	西東三鬼賞	津山出身の俳人 西東三鬼(4/1没)を顕彰し、三鬼俳句の精神を継ぐ新しい感覚の俳句文芸の振興を目指し、広く作品を募集する。 令和3年度で29回目を迎える。	西東三鬼賞委員会	令和3年度 (表彰式中止)	—	全般	投句者数 550人	553人	文化課	○	青森・福井を除く45都道府県及び海外(アメリカ・パラオ)から投句があった。今回も三鬼俳句の精神を継いだ、現代俳句が多く、選考委員による選考の結果、西東三鬼賞他入賞作品が選出された。(表彰式は、新型コロナウイルスの感染状況を鑑み、中止した。)
31	1	津山市写真展	第1回から8回までは「みまさかの貌」、第9回から13回までは「作州人」、第14回からは「みまさかの現在(いま)」をテーマに開催。 令和3年度で30回目を迎える。	津山市	11月12日 ～17日	市立文化展示ホール	全般	応募者数 50人	37人	文化課	○	美作地域の現在の姿を後世に遺すため、今回も県北写真連盟の後援を受け開催。 多数の応募作品があった。
32	1	新春津山川柳大会	県北を中心に県外からも川柳愛好家が集う。 令和3年度で41回目を迎える。	津山市	5月10日 ～6月23日	—	全般	投句者数 150人	161人	文化課	○	誌上大会のため、県内外から多くの川柳愛好家より応募があった。
33	1	文化財調査報告会	外部講師による文化財全般の講演、市職員による文化財調査の報告。	津山市	—	津山東公民館	一般市民	80人	—	文化課 文化財保護係	×	新型コロナウイルスの影響により、年度内開催予定が順延となった。
34	1	美作考古学談話会	職員による考古学関係の講座、遺跡見学など。	津山市	8月7日 11月27日	文化財センターほか	一般市民	15人	6人	文化課 文化財保護係	△	新型コロナウイルスの影響により、開催回数が2回に留まった。
35	5	古文書講座 美作の古文書を読む	美作地域に伝わる古文書の講読を通じて、読解に必要な知識を学習しながら、おもに江戸時代の美作地域の歴史への理解・関心を深める。	津山市	7月・10月・11月・1月・2月・3月の6回	郷土博物館	市民ほか	各回20人	99人	文化課 郷土博物館	○	新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響で、3回中止となったが、各回概ね予定人数の参加があった。

事業番号	基本施策	事業名	事業目的・事業内容等	主催者	実施年月日	実施場所	対象者	R3計画 参加予定人数 (評価基準値)	R3実績 (参加人数等)	担当部課室名	事業評価 (達成度)	備考等
36	5	子ども歴史講座 勾玉をつくろう	古代の装飾品である勾玉づくりを体験することによって、古代の技術に触れ、歴史への理解を深める。	津山市	8月3日 8月4日	郷土博物館	小・中学生	各回10人	4人	文化課 郷土博物館	×	新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、周知する期間が短く、予定より参加者が少なかったが、参加した子どもからは楽しかった、またつくりたいなどの意見があった。
37	5	美作の文化財めぐり	美作地域を中心としながら、文化財や歴史遺産を訪ねることによって地域の歴史に対する理解を深める。	津山市	5月15日 11月27日 3月19日	市内各所ほか	市民ほか	延べ30人	37人	文化課 郷土博物館	○	年3回(5月15日、11月27日、3月19日)実施した。
38	1	郷土博物館だより「津博」刊行事業	郷土博物館における実施事業の紹介や、学芸員による調査研究の最新情報を提供することにより、市民の学習に資するもの。	津山市	5月・7月・11月・1月	郷土博物館	全般	4回	4回	文化課 郷土博物館	○	年4回(108～111号)発行した。
39	1	地域史学習講演会支援事業	学芸員が地域のグループや町内会などに出向いて、美作地域史に関する講義講演を行い、市民のグループ学習に資するもの。	津山市	随時	市内各所	一般市民	のべ200人	134人	文化課 郷土博物館	△	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の影響で講義講演は、例年より少なかったが10件の講師依頼などがあった。
40	1	文化講演会	「日本石鹼製造事始め」 講師：花王ミュージアム 館長 引地聡 先生	津山市	—	—	—	—	—	文化課 洋学資料館	×	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため延期。
41	1	洋学資料館春季企画展 「資料が秘めた物語Ⅲ—洋学者がみた西洋文化—」	江戸時代の蘭学のはじまり頃から明治時代まで、資料に秘められた洋学者たちの「西洋文化・文明への好奇心」を紹介する。	津山市	3月13日 ～6月13日	津山洋学資料館	一般市民	750人	1,447人	文化課 洋学資料館	○	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止策として、5/16～6/20に臨時休館したため、人数は当初の半数に修正。
42	1	洋学資料館夏季企画展 「あれも薬 これも薬」	江戸時代から明治時代にかけて、人々が薬に対してどのような関心を持ち、どのように研究したのかを紹介する。	津山市	7月3日 ～11月7日	津山洋学資料館	一般市民	750人	2,203人	文化課 洋学資料館	○	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、秋季企画展の開催を次年度以降に延期し、会期を11月7日まで延長したため、人数は当初の倍に修正。

事業番号	基本施策	事業名	事業目的・事業内容等	主催者	実施年月日	実施場所	対象者	R3計画 参加予定人数 (評価基準値)	R3実績 (参加人数等)	担当部課室名	事業評価 (達成度)	備考等
43	1	洋学資料館秋季企画展 「箕作省吾生誕200年記念 蘭学者が描いた世界地図 (仮)」	箕作省吾ら蘭学者たちが描いた世界地図を紹介する。	津山市	—	—	—	—	—	文化課 洋学資料館	×	新型コロナウイルス感染症大防止のため延期。
44	1	洋学資料館冬季企画展 「生誕200年記念 宇田川興 齋」	生誕200年を記念して、幕末から明治維新に外交・医療・教育に尽力した宇田川興齋の生涯と業績を紹介する。	津山市	11月27日 ～2月20日	津山洋学資料館	一般市民	750人	1,455人	文化課 洋学資料館	○	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、団体客のグループ分けなどで3密を回避しながら開催したが、臨時休館の可能性や客足の鈍化を想定し、人数は当初の半数に修正。
45	5	江戸時代の化学書からの再現 実験教室	津山高専及び津山高校の協力により、宇田川榕菴が著した日本最初の化学書「舎密開宗」に記されている化学実験の再現によって、自然科学や郷土史への関心を高める。	津山市	8月7日	津山洋学資料館	一般市民	15人	20人	文化課 洋学資料館	○	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、席数を減らして事前申込制として開催。計画上の人数は当初の半数に修正。
46	1	親子でヒンデローベンの 作品づくり	洋学資料館の展示室装飾に携わった永江絹子氏の協力により、ヒンデローベンの絵画技法による絵付け体験教室を開催し、オランダや洋学への関心を高める。	津山市	7月31日	津山洋学資料館	一般市民	10人	10人	文化課 洋学資料館	○	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、席数を減らして事前申込制として開催。計画上の人数は当初の半数に修正。
47	1	ヒンデローベン絵付け体験 教室	洋学資料館の展示室装飾に携わった永江絹子氏の協力により、ヒンデローベンの絵画技法による絵付け体験教室を開催し、オランダや洋学への関心を高める。	津山市	8月1日	津山洋学資料館	一般市民	10人	11人	文化課 洋学資料館	○	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、席数を減らして事前申込制として開催。計画上の人数は当初の半数に修正。
48	1	オムニバス講演会	洋学資料館職員が日頃の研究成果を報告することで、洋学への理解と関心を深める。	津山市	1月30日	津山洋学資料館	一般市民	30人	46人	文化課 洋学資料館	○	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、席数を減らして事前申込制として開催。計画上の人数は当初の半数に修正。
49	1	津山洋学資料館だより 「洋学資料館」刊行事業	洋学資料館で実施した事業の報告や、資料紹介を掲載し、市民の洋学学習に資する。	津山市	年2回(9月・3月)	津山洋学資料館	一般市民	2回	2回	文化課 洋学資料館	○	予定どおり実施。

事業番号	基本施策	事業名	事業目的・事業内容等	主催者	実施年月日	実施場所	対象者	R3計画 参加予定人数 (評価基準値)	R3実績 (参加人数等)	担当部課室名	事業評価 (達成度)	備考等
50	1	洋学研究誌『一滴』刊行事業	広く洋学全般に関する論文を掲載、市民の洋学学習に資する。	津山市	年1回(3月)	津山洋学資料館	一般市民	1冊	1冊	文化課 洋学資料館	○	予定どおり実施。
51	1	からだのしほみを学ぼう!	川崎医科大学現代医学教育博物館の協力により、臓器標本のスケッチなどを実施。医学史や人体に関する関心を深める。	津山市	—	—	—	—	—	文化課 洋学資料館	×	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。
52	5	農業体験学習	農業体験を通じ、農業の大切さや食の安全等学習機会の提供について、小学校、JA、生産者等関係機関・団体と連携し推進する。	小学校	夏(5~6月) 秋(9~11月)	各小学校周辺の 田及び畑	小学生	100人	354人	農業振興課	○	田植えについては3校169人、稲刈りは3校185人が参加し、市内6校において農業体験学習が実施された。
53	5	森林環境学習出前講座	森林の有する多面的機能や森林整備の必要性等に対する理解と関心を深めるとともに将来の林業の担い手を育成・確保することを目的として出前講座を実施する。	津山市	10月30日	加茂町字野	小学生及び 保護者	40人/回	40人	森林課	○	予定どおり実施 アンケート調査は実施していないが、参加した小学生からは「楽しかった。苗が元気に育って欲しい」などの感想が多かった ので、○判定とする。
54	5	夏休み親子下水道教室	下水道の仕組みと働きを楽しく学び、人と水の関わりについて考えることにより、下水道の接続促進を図る。	津山市	—	—	—	—	—	下水道課	×	※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の為中止
55	2	国際交流ボランティア研修会	国際視野を持ったグローバル人材育成、多文化共生に向け国際化に関する理解を深めるための研修会	津山市	3月27日	中央公民館	一般市民、国際交流サ ポートネット 登録ボラン ティア	30人/回	20人/回	地域づくり推進 室	○	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、定員を制限し、広い会場にて3密を回避して実施した。 定員を設けない⇒30人/回 アンケート実施(満足度100%)
56	2	日本語講師研修会	市が設置している津山日本語教室の企画・運営をおこなっている「津山にほんごの会」のボランティア講師を対象とした、教授技術向上のための研修会	津山市	7月11日	中央公民館	津山にほん ごの会会員	15人/回	16人/回	地域づくり推進 室	○	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、3密を回避して実施した。 アンケート実施(満足度100%)

事業番号	基本施策	事業名	事業目的・事業内容等	主催者	実施年月日	実施場所	対象者	R3計画 参加予定人数 (評価基準値)	R3実績 (参加人数等)	担当部課室名	事業評価 (達成度)	備考等
57	3	地域づくり応援事業	集落や町内会機能の維持が近い将来困難になることが予想される地域の住民と市が協働で集落等の機能の再編と地域活性化の取り組みを行う。	津山市	通年	市内	一般市民	14団体	13団体	地域づくり推進室	○	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、マスク着用、手指消毒を徹底した上で、開催時間を短く3密を回避して実施した。人が集まる事業などは中止する地域が多かった。
58	1	生涯学習講座（陶芸教室）	日々の生活にやすらぎと潤いを実感できるよう、市民を対象とした生涯学習講座(陶芸教室)を実施する。	津山市	毎月第2・4土曜日	まなび館	一般市民	10人/回	10人/回	加茂支所 地域振興課	○	新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響で一部開催できない時があったが、おおむね予定どおり実施。
59	1	生涯学習講座（書道教室）	日々の生活にやすらぎと潤いを実感できるよう、市民を対象とした生涯学習講座(書道教室)を実施する。	津山市	毎月第1・3水曜日	加茂町公民館	一般市民	8人/回	8人/回	加茂支所 地域振興課	○	新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響で一部開催できない時があったが、おおむね予定どおり実施。
60	1	生涯学習講座（歌声教室）	日々の生活にやすらぎと潤いを実感できるよう、市民を対象とした生涯学習講座(歌声教室)を実施する。	津山市	毎月第1木曜日	加茂町公民館	一般市民	12人/回	11人/回	加茂支所 地域振興課	○	新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響で一部開催できない時があったが、おおむね予定どおり実施。
61	1	津山加茂郷フルマラソン全国大会	津山市加茂郷の歴史・風土・特産品等を広く全国に紹介するとともに、参加者と住民の交流を深めることを目的としてフルマラソン大会を実施するもの。	津山加茂郷フルマラソン全国大会実行委員会	—	—	—	—	—	加茂支所 地域振興課 スポーツ課	×	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため延期
62	3	勝北シルバー大学	生活に関する講座や歴史研究(文化財巡り)、研修視察旅行などを行い、社会的視野を広げるとともに生きがいのある生活をすすめる、シルバー大学生相互の親睦を深める活動を行う。	津山市	6月24日 7月29日 10月22日 11月21日 12月17日	勝北文化センター ほか	おおむね65歳以上の高齢者	46人 (R2年度登録者)	47人 (R3年度登録者)	勝北支所 地域振興課	○	年8回程度開催していたが、新型コロナ感染症拡大防止の緊急事態宣言発令・蔓延防止法適用のため開催できていない月がある。
63	1	勝北陶芸の里	陶芸の親睦を図り、地域の工芸技術の向上に寄与すると共に、市民葬後の憩いの場を提供する。子ども高齢者、初心者から上級者まで楽しめ、世界でたった1つの作品を創作できる。	津山市 津山市教育委員会	月・火曜日 年末年始(12月28日から1月4日まで)を除く日	勝北陶芸の里工房	一般市民	600人	646人	勝北支所 地域振興課	○	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開館できていない月や指導者不在のため開館日を縮小している。参加予定人数900人から600人へ変更。5/16～6/20・8/20～9/30休館

事業番号	基本施策	事業名	事業目的・事業内容等	主催者	実施年月日	実施場所	対象者	R3計画 参加予定人数 (評価基準値)	R3実績 (参加人数等)	担当部課室名	事業評価 (達成度)	備考等
64	1	子どもステージフェスティバル	地域のこども園や小中学校の学習成果や元気ッズひろばで活動している子ども達の成果の発表の場として開催する。	津山市	—	—	—	—	—	勝北支所 地域振興課	×	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
65	3	元気ッズひろば (バンビ勝北クラス)	毎週水曜日の放課後・冬・夏休みを利用して地域の子ども達に様々な体験活動や家庭教育の支援を行い夢を持ったたくましい子どもを地域で育てる。	元気ッズひろば実行委員会	4月～3月の 火・水・土・日 曜日	勝北文化センター・勝北公民館 (ハートピア勝北)	津山市内の 小中学生	300人	334人	勝北支所 地域振興課	○	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催できていない月がある。 参加予定人数450人から300人に変更(参加児童数と指導者・支援者の延べ人数)。
66	1	ミュージックフェスティバル 久米	子どもからお年寄りまで音楽を愛する多くの方が、日頃の練習の成果を発表する場として、また世代間の交流が深まる場として毎年開催するもの。	ミュージックフェスティバル 久米実行委員会	12月12日	久米公民館	子どもからお 年寄り	150人	103人	久米支所 地域振興課	△	1回の参加人数を100人以下(会場定数の半数以下)にし午前・午後の2部構成として開催したが、コロナウイルス感染防止対策で参加を見送られる方がいた。
67	3	格致大学	高齢化社会の中で若さを失うことなく仲間とともに学び、社会参加を積極的に進め、自ら現代社会に適応するための学習。	津山市	6月25日 7月27日 10月19日 11月30日 12月16日 1月20日 2月16日	久米公民館	概ね60歳以上	130人	103人 (今年度生徒数)	久米支所 地域振興課	○	コロナウイルス感染防止対策を行ないながら、実施
68	3	久米キッズクラブ	子どもたちが地域社会の中で心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する。	久米キッズクラブ運営委員会	(お茶・体操・料理教室) 月1回土曜日 (久米和太鼓) 月2回木曜日	久米公民館他	小学生	30人	35人	久米支所 地域振興課	○	コロナウイルス感染防止対策を行ないながら、実施
69	1	久米ふれあい陶芸センター	陶芸の振興を図り、地域の工芸技術の向上に寄与するとともに、市民に交流の場を提供する。	津山市・津山市生涯学習課	随時	久米ふれあい陶芸センター	一般市民	60人	53人	久米支所 地域振興課	○	コロナウイルス感染防止対策を行ないながら、実施
70	3	阿波ふるさと祭り	恵まれた自然と農林業を活かし、地域住民と都市生活者など、内外の人々とのふれあいを通じて、産業の振興と観光の発展を図り、さらに地域の活性化を目指す。	阿波ふるさと祭り実行委員会	—	—	—	—	—	阿波出張所 地域振興課	×	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

事業番号	基本施策	事業名	事業目的・事業内容等	主催者	実施年月日	実施場所	対象者	R3計画 参加予定人数 (評価基準値)	R3実績 (参加人数等)	担当部課室名	事業評価 (達成度)	備考等
71	3	阿波ふるさとふれあい納涼星空祭り	阿波地域住民及び帰省客相互のふれあいと親睦をあわせて地域の活性化を図る。	阿波ふるさとふれあい納涼星空祭り実行委員会	—	—	—	—	—	阿波出張所 地域振興課	×	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
72	4	社会教育関係者対象研修会	社会教育委員、公民館長、教職員、行政職員等を対象に、社会教育活動が必要とされる指導者の人材育成などを進める。	津山市・津山市教育委員会	9月17日 10月29日 11月16日 12月17日 3月16日	市内	社会教育委員・公民館長等	60人	92人	生涯学習課	○	公民館長を対象に、コミュニティスクールのつくり方、男女共同参画研修、AED講習についての研修を実施した。社会教育委員を対象に、重要伝統的建造物群保存地区「城西地区」や広野公民館での子どもに関する活動について研修を行った。
73	1	生涯学習に関する広報事業	生涯学習に関する機関・団体を含めた学習情報を収集し、提供する。ホームページ・CATVなどのメディアを活用し情報提供する。県生涯学習センターとの連携を図る。	津山市	随時	社会教育施設	一般市民	—	—	生涯学習課	○	生涯学習講座などイベント情報を広報つやま、防災無線、市ホームページなどに掲載した。また、フェイスブックや市ホームページを活用しコロナウイルス対応による施設の開閉や利用制限などの情報提供を行った。
74	4	生涯学習推進本部・幹事会の会議の開催	本部は生涯学習推進のための基本方針を決定する。幹事は議案の調整、本部長の命を受けた事務の処理を行う。推進計画の数値目標について見直しを行う。	津山市	8月5日 8月25日	庁内	市職員	年1～2回	2回	生涯学習課	○	第4次津山市生涯学習推進計画の一部改訂について審議した。
75	4	生涯学習推進懇談会の開催	市民の有識者で構成し、津山市の生涯学習の推進に関し、必要な事項を調査・審議し、その結果を市長に提言する。	津山市	10月29日	庁内	生涯学習推進懇談会委員	年1～2回	1回	生涯学習課	○	生涯学習推進計画の一部改訂について審議した。生涯学習関連事業の前年実績・今年度計画について報告した。
76	2	津山市生涯学習人材バンク	各地域における講師・指導者の人材情報を集約し、民間や企業などの新たな人材の掘り起こしを行い、これらの情報を「津山市生涯学習人材バンク」として整備し、利活用を図る。パネル展を実施する等、人材バンクの周知を図る。	津山市	随時	市内各所	一般市民	—	—	生涯学習課	○	登録者(4月末)136(個人109、団体・企業27) 人材バンク登録リストのHP掲載、小中学校、公民館等へ人材バンク登録リストの配布、パネル展の開催(3回)「津山市生涯学習人材バンク新聞」の発行(2回)を行った。
77	1	生涯学習講座	時代とともに変化する市民ニーズを調査し、多様なニーズに対応できるよう学習プログラムを改善し、講座を開催する。	津山市	①11月6日 ②12月11日 1月16日 ③3月14日	①総合福祉会館 ②、③津山東公民館	一般市民	90人	123人	生涯学習課	○	①「知ってみよう、渋沢栄一」27名 ②中国文化あれこれ 第1回20名 第2回27名 ③気象と防災 49名 ※2月16日、27日のスマホ講座は新型コロナウイルス感染症拡大のため中止

事業番号	基本施策	事業名	事業目的・事業内容等	主催者	実施年月日	実施場所	対象者	R3計画 参加予定人数 (評価基準値)	R3実績 (参加人数等)	担当部課室名	事業評価 (達成度)	備考等
78	1	大人の社会見学	一般市民を対象に津山市にある施設等を見学し、地域について学ぶ機会を提供する。	津山市	①8月19日 ②10月27日 ③12月16日	①小田中浄水場 ②汚泥再生処理センター ③津山圏域クリーンセンター	一般市民	15名/回	①15名 ②12名 ③28名	生涯学習課	○	①浄水場の施設を見学しながら、水道水が出来て、各家庭に届くまでを学んだ。 ②生活排水などの尿尿や浄化槽汚泥の処理方法を学び、環境の中で循環しているのが学んだ。 ③施設を見学しながらゴミ処理の現状を知り、ゴミ減量やリサイクル・分別について知る事で、環境に対する認識を深めた。
79	1	生涯学習情報紙「まなびい」発行	市内で開催される生涯学習講座や教室の情報を冊子にまとめ配布することにより、学習機会の提供を行い、生涯学習の振興を図る。	津山市	毎年4月発行	—	一般市民	1回	1回	生涯学習課	○	市内で開催される生涯学習講座や公民館講座の情報を全戸配付し、学習機会の提供を行った。
80	3	青年学級	知的障害者(青年)とボランティア・保護者が毎月様々な学習活動に取り組み、知的障害者の生涯学習の振興を図る。	青年学級	11月28日 12月19日 3月20日	中央公民館	16歳以上の知的障害者とその家族・ボランティア	のべ150人	53人	生涯学習課	△	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため5、6、9、10、1月行事を中止、2月行事を3月に延期した。 押し花カレンダー作り、大道芸の鑑賞と体験、次年度行事の組み立て等、様々な学習活動に取り組んだ
81	1	大人のまなびい教室	津山の資源や人材を活用して市民に学びの機会を提供する。学んだことを受講者が地域や家庭に持ち帰り、それを広める。	津山市	10月8日 10月14日 11月19日 12月23日 3月7日	市内各所	市民	30人/回	30人/回	生涯学習課	○	心と体の健康をテーマに地域の人材や資源を活用した4回の連続講座と番外編を開催し、市民の生涯学習活動のきっかけとした。 アンケート満足度(5回平均95%)
82	5	青年討論会	毎回、時勢のテーマを設定のうえ議論を深め、青年の社会参加と地域の活性化を図る。	津山市青年団体連絡協議会	—	—	青年	1回	—	生涯学習課	×	市内の高校生を対象に「新型コロナウイルスのいまとこれから」をテーマに公開討論会を企画したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。
83	5	美作学講座	美作大学との包括連携協定に基づき、共催で美作学講座を開催する。	津山市・美作大学	11月27日 12月4日	美作大学	市民	のべ150人 (各回50人程度)	136人	生涯学習課 市史編さん室	○	津山・美作地域の歴史について理解を深めた。 アンケート満足度(2回平均80%) 新型コロナウイルス感染症拡大防止により第3回は中止としたため、講座数は減少したが、目標値の90%であるため、○判定とする。
84	3	リクエスト大学	市民の注文に応じて、市職員を派遣する。市職員が講師となり、市が行っている仕事の中で、市民が聞きたい、知りたいことを届ける。	津山市	随時	市内	一般市民	7,500人	6,241人	生涯学習課	○	新型コロナウイルス感染症拡大防止により講座数・定員が減少したが、目標値の83%であるため、○判定とする。

事業番号	基本施策	事業名	事業目的・事業内容等	主催者	実施年月日	実施場所	対象者	R3計画 参加予定人数 (評価基準値)	R3実績 (参加人数等)	担当部課室名	事業評価 (達成度)	備考等
85	3	公民館文化祭	生涯学種の普及・啓発のため、市民団体等と協働して生涯学習活動の成果を発表・展示する。	津山市・実行委員会	9月～3月	公民館ほか	市民	延べ5,200人	延べ3,983人	生涯学習課 中央公民館	○	新型コロナウイルス感染症拡大防止より開催中止した館は23館中11館であった。開催実施した12館についても、作品展示のみ行う等、例年より事業を縮小して開催した。当初の評価基準値を延べ1万人(23館)から5,200人(12館)へ変更した。
86	3	公民館での主催講座・自主講座	市民の学習ニーズを把握し、学習機会を提供する。	津山市・講座団体	通年・随時	公民館	市民	延べ20万人	延べ187,543人	生涯学習課 中央公民館	○	新型コロナウイルス感染症拡大防止による休館もあり、例年より利用者数は少なく昨年度同等であった。主催講座は7月から実施したが、定員を減らし、活動場所は市内のみとする等、事業を縮小して開催した。
87	5	公民館での歴史講座	地域の歴史遺産を掘り起こすことで郷土の歴史を再認識し、郷土への愛着を深める。	津山市・講座団体	通年・随時	公民館ほか	市民	延べ700人	延べ435人	生涯学習課 中央公民館	△	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催中止等により参加者数が減少した。
88	4	公民館運営への市民参画	津山市公民館運営審議会や公民館ごとの活動推進協議会で公民館運営に係る意見を聴取する。	津山市・各公民館	随時	公民館	委員	342人	342人	生涯学習課 中央公民館	○	招集による会議が困難な場合は、書面会議にて開催した。
89	1	読書週間行事	生涯学習の普及・啓発や図書館利用・読書推進のためボランティア等と協力して実施する。	津山市	年2回程度	図書館	児童一般	100人	140人	生涯学習課 図書館	○	予定どおり実施 読書週間映画会、どこコレ@津山市、教科書音読発表会、ぬいぐるみのおはなし会などを実施し合計で140名の参加。
90	1	津山市 図書館を使った調べる学習コンクールの開催	児童・生徒が、「自ら考え、課題解決する力」や「生きていく力」を養うために、「調べる学習」を行う場をもうけ、コンクールを開催する。	津山市	6月～9月	津山市立図書館・文化課各施設等	小・中学生	—	44人	生涯学習課 図書館	○	予定どおり実施 説明会、勉強会、表彰式などを実施。応募数は過去最多の44人179作品。
91	1	自動車文庫推進事業	図書館遠隔地、小学校、幼稚園、老人施設、集客施設等を中心に定期的巡回し、読書推進を図る。	津山市	通年、毎月	市内全域	一般 園児 児童 教職員	貸出冊数 28,000冊	24,254冊	生涯学習課 図書館	○	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として例年の約70%の巡回回数の中、貸出冊数は24,254冊で予定の86%の利用があった

事業番号	基本施策	事業名	事業目的・事業内容等	主催者	実施年月日	実施場所	対象者	R3計画 参加予定人数 (評価基準値)	R3実績 (参加人数等)	担当部課室名	事業評価 (達成度)	備考等
92	2	ボランティアグループ等との連携	ボランティアグループなどとの連携による読み聞かせや工作、おはなし会などを開催する。	津山市	通年・随時	津山市立図書館内	ボランティアグループ及びボランティア活動の意志がある個人	30人	87人	生涯学習課 図書館	○	新型コロナウイルス感染拡大防止対策として開催自粛のボランティアグループもあったが、開催回数は18回、参加者は87人。
93	3	つやまっ子読書プラン推進事業	音読大会や読書インタビューなど子どもの読書活動の大切さを啓発する。また、読み聞かせボランティアや指導者の育成などを行う。	津山市	随時	市内	一般児童 幼児	100人	210人	生涯学習課 図書館	○	予定どおり実施 読み聞かせキャラバン6回、ボランティア講演会1回、読書ボランティア交流会1回、教科書音読発表会、読書インタビューを実施。参加者は210人。
94	3	幼・保・小・中との連携による読書推進	幼・保・小・中との情報交換に努め、児童・生徒の読書支援のための長期間の貸出、授業支援のための参考図書の貸出を継続的に行う。	津山市	通年・随時	津山市立図書館内	学校関係者・ 保育所関係者・児童・生徒	貸出冊数 30,000冊	42,087冊	生涯学習課 図書館	○	予定どおり実施 幼児・児童・生徒への読書支援のための団体貸出を実施した。貸出冊数は42,087冊
95	3	市内高校・大学との連携事業(図書館相互協力の推進)	美作大学・津山高専との三館連携、市内の全高校との連携を発展させる。	津山市	通年・随時	津山市立図書館内	高校・高専・ 大学関係者・ 学生	相互貸借 1,000冊	1,396冊	生涯学習課 図書館	○	予定どおり実施 市内高校・大学・高専との連携事業の令和3年度の相互貸借は1,396冊。
96	3	津山圏域定住自立圏図書館相互協力事業	津山市を中心館として勝央町、奈義町、久米南町、美咲町の各図書館と協力し地域の生涯学習を推進する。	津山市	通年・随時	津山圏域内	圏域住民	相互返却 900冊	1,689冊	生涯学習課 図書館	○	予定どおり実施 津山圏域定住自立圏相互協力事業により相互返却の事業を実施。相互返却数は1,689冊
97	3	健康支援サービス、津山中央病院医療情報プラザとの相互協力事業	入院患者やその付き添い親族を対象に同病院医療情報プラザへ団体貸出を行うとともに、医療健康情報等の発信・共有化を推進する。	津山市	通年・随時	津山市立図書館(本館)及び津山中央病院医療情報プラザ	一般市民・同 病院入院患者等	貸出冊数 1,500冊	1,267冊	生涯学習課 図書館	○	予定どおり実施 入院患者や医療従事者へ団体貸出を行い、医療健康情報の発信・共有化を実施した。 令和3年度貸出冊数は1,267冊
98	3	放送大学岡山学習センター津山教室充実事業	県北在校生の履修科目の教材の収集・配架を行い、利便性の向上を図るとともに、同大学教授陣による講座を定期的で開催し、市民へ更なる生涯学習を推進する。	津山市	通年・随時	津山市立図書館内研究室	一般市民 在学生	30人	33人	生涯学習課 図書館	○	予定どおり実施 放送大学教授陣による講座を年2回実施。 参加者33人

事業番号	基本施策	事業名	事業目的・事業内容等	主催者	実施年月日	実施場所	対象者	R3計画 参加予定人数 (評価基準値)	R3実績 (参加人数等)	担当部課室名	事業評価 (達成度)	備考等
99	3	ビジネス支援事業	ビジネス関連の課題解決に向け、市民・利用者の就職活動、起業、能力アップを支援するため、ビジネス支援セミナー、各種講演会、情報コーナーの拡充を推進する。	津山市	通年・随時	津山市立図書館内	一般市民	30人	23人	生涯学習課 図書館	○	新型コロナウイルス感染拡大防止対策として回数を減らして実施。共催として就活応援ミニセミナー、農業セミナーを開催。参加者23人
100	3	高齢者サービス事業	図書館で作成した回想法キットの貸出と利用促進と併せて高齢者向けの講座や資料の紹介などを行う	津山市	通年、随時	津山市立図書館内	高齢者 介護者	50人	42人	生涯学習課 図書館	○	新型コロナウイルス感染症の影響で回想法キットの貸出は少なかった。「大人の音読会」「オンライン体験講座」等の高齢者向け講座は参加者42人。
101	4	団体貸出推進事業	図書館の団体貸出を使って、地域や職場、施設への読書支援を強化、さらにミニ図書館の開設を促す。	津山市	通年、随時	市内全域	一般市民及び読書グループ	新規10団体	8団体	生涯学習課 図書館	○	予定どおり実施。一般企業や団体、施設などに団体貸出をPRし、ミニ図書館の開設を促進した。新規団体数は8団体。
102	3	健康セミナー事業	健康を題材として、多角的テーマで講演会を開催。関連本の紹介や健康のパネル展を開催し、市民生活に役立つ情報提供を推進する。	津山市	通年、随時 (講演会)	津山市立図書館内	一般市民	25人	11人	生涯学習課 図書館	△	新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、初めて健康をテーマとしたオンライン講演会を1回実施した。参加者は11人と対面時より少なかった。
103	3	オンライン活用事業	新型コロナウイルス感染拡大のため自宅できるオンラインを活用した読み聞かせ動画の配信、オンライン音読会及びオンライン工作等を推進する。	津山市	通年、随時	津山市立図書館内	一般市民 乳幼児・児童	50人	53人	生涯学習課 図書館	○	予定どおり実施 オンラインを活用した読み聞かせ動画の配信、健康セミナー等をオンラインで実施。 参加者53人
104	1	スポーツ協会加盟種目団体 スポーツ教室	野球・柔道・陸上等のスポーツ協会加盟種目団体が各種教室を開催することにより、小・中学生の健全育成を図る。	各種目団体	通年	市内各所	小・中学生	13教室700人	1,174人	スポーツ課	○	
105	1	モーニングスポーツ(卓球・ ビククルボール・バドミントン)	市民が自主的にスポーツに取組むことにより、健康づくり・体力づくりを図る。	津山市教育委員会	通年(火・金曜日)	津山総合体育館 他	一般市民	600人	608人	スポーツ課	○	

事業番号	基本施策	事業名	事業目的・事業内容等	主催者	実施年月日	実施場所	対象者	R3計画 参加予定人数 (評価基準値)	R3実績 (参加人数等)	担当部課室名	事業評価 (達成度)	備考等
106	1	つやま市民スポーツ祭	生涯スポーツ社会の実現に向けて、市民がスポーツを身近に感じてもらう機会を提供することにより、体力づくりに寄与する。	つやま市民スポーツ祭実行委員会	R3.10.9	津山陸上競技場周辺	一般市民	2,000人	—	スポーツ課	×	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため1年延期。
107	1	ニュースポーツ教室等	市民がスポーツに親しむ環境を提供し、ニュースポーツ・グラウンドゴルフ・にこにこ体カトレーニング・親子チャレンジ教室を通じて生涯スポーツの振興を図る。	津山スポーツ振興財団	春季・秋季に8~10週	津山総合体育館他	幼児～高齢者	500人	46人	スポーツ課	×	新型コロナウイルス感染症拡大防止のためグラウンドゴルフ教室を除き、中止。
108	3	水道局の仕事	リクエスト大学の講座として、小学校4年生の社会科の授業に出てくる内容に合わせて、水道局の仕事の内容と浄水のできるまでを、パンフレットとビデオで説明する。	水道局	随時	浄水場及びその他	小学生	500人	532人	経営企画室	○	新型コロナウイルス感染防止対策として、受入を中止した期間があったが、例年並みの受入があった。
109	3	浄水場の仕事	河川から取水した水が、安心して飲める水となるまでの工程や安全管理などを実際に見ていただいて、水道事業に理解を深めていただく。	水道局	通年	浄水場	一般市民ほか	50人	35人	経営企画室 小田中浄水場 草加部浄水場	△	新型コロナウイルス感染防止対策として、受入を中止した期間があり、例年を下回る実績となった。
110	5	ふるさと学習推進事業「My Townつやま」	【目的】地域に根ざした学びをすすめ、ふるさとを理解しふるさとを愛する心を培うことをねらう。【内容】学校や地域の特色を生かした取組を支援し、地域人材を活用するなど地域に密着した体験活動を行う。※「市内の6年生が洋学資料館・郷土博物館等を訪れるなど、地域の先人や伝統・文化の学習」を行う。	津山市教育委員会 各学校	通年	各学校 各地域	児童生徒及び地域の人材	3,000人	2,004人	学校教育課	△	全ての市内6年生は、洋学資料館、郷土博物館等を訪れ、地域の先人や伝統・文化の学習を行った。また、各学校では地域の方を講師や支援員として招き、4年社会科地域にある用水の学習や6年社会科地域にある史跡等についての地域学校協働活動を行った。
111	3	チャレンジ・ハッピーデー	【目的】子どもたちの生活習慣を確立するとともに、家庭での有意義な時間の過ごし方が創造できることを目指す。【内容】重点月間とする5月と11月に「チャレンジ・ハッピーデー」ウィークを定め、家庭での時間の使い方を振り返り、家族での会話・家事・読書・家庭学習をする等、有意義な時間が持てるよう呼びかける。※「ノーテレビ・ノーゲーム・メディアコントロール」	津山市教育委員会 各学校	5月・11月	各家庭	児童生徒 保護者	8,000人	8,400人	学校教育課	○	各校でメディアコントロール週間を設定し、家庭学習時間を確保したり、家族団らん時間をもったりするなどの家庭での望ましい生活の仕方についての取組を行った。
112	5	つやまっ子・デビュー14	【目的】キャリア教育の観点から、生徒の望ましい職業観や勤労観を育て、「生きる力」を育成することを目指す。【内容】学校・家庭・地域及び産業界が連携・協力を図りながら、各中学校2年生が職場体験を実施する。※「津山市内8中学校の中学2年生全員による3~5日間の職場体験活動」	津山市教育委員会 各中学校	9月~2月	各事業所 各学校等	生徒	870人	870人	学校教育課	△	新型コロナ感染症拡大防止のため、職場体験学習ではなく、規模縮小したり各校に講師をまねいた講演会を実施したり各校で目的達成の為に工夫して実施した。

事業番号	基本施策	事業名	事業目的・事業内容等	主催者	実施年月日	実施場所	対象者	R3計画 参加予定人数 (評価基準値)	R3実績 (参加人数等)	担当部課室名	事業評価 (達成度)	備考等
113	5	つやま元気大賞	【目的】 児童生徒の主体的な活動や学校が一丸となった教育活動、また、教職員の創意工夫ある教育指導実践、PTA団体や健全育成団体の活動等において、優れた成果や他の模範となる取組に対し、広く表彰することを通じて、津山市の学校や地域を元気にする。	津山市教育委員会	通年	各学校 各地域	市内小中学校児童生徒・小中学校及び中学校区・PTA団体・健全育成団体等	800人	2,383人	学校教育課	○	個人の部では3小学校1こども園から、団体の部では16小中学校・団体からの応募があり、選考委員による選考の結果、令和3年度つやま元気大賞を決定し、11月1日に表彰式を行った。
114	3	朝食づくり講座	60・15キャンペーンの取組みとして、簡単にできる朝食づくりを親子で学び、健康づくりに欠かせない朝食の習慣化を図ることを目的に開催する。	津山市教育委員会 津山市PTA連合会	—	—	—	—	—	保健給食課 学校教育課	×	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
115	3	PTA研修会(小中学校)	津山市PTA連合会の全体研修	津山市PTA連合会	年4回	INN—SECT(インセクト)等	小中学校PTA	100人	30人、ネット配信視聴者数	学校教育課	△	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、定員を減らし3密を回避して実施した。 11/18(木)、11/22(月)「タブレットを使ってみよう」 2月～5月 ネット配信「保護者が知っておくべきスマホ・ネットトラブル対策と情報モラル～家庭でのルール作り～」
116	3	PTA研修会(幼稚園)	津山市幼稚園PTA連絡協議会の全体研修	津山市立幼稚園PTA連絡協議会	年1回	市内	園長・幼稚園PTA	50人	44人	学校教育課	△	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、定員を減らし3密を回避して実施した。 50人/回⇒44人/回 11/17(木)津山市立幼稚園PTA連絡協議会研修会「子どもの共感力を育てる～明るい言葉で子育てを～」
117	4	地域学校協働活動	学校支援ボランティアの活用など、地域の教育力向上を進め、地域をあげて子どもたちを育てる学校や地域の仕組みづくりを推進する。	津山市教育委員会	通年	市内各小中学校、 公民館等	一般市民	30人	41人	学校教育課	○	津山市地域学校協働活動推進員を校長等の推薦により、全小中学校で委嘱して、学校支援ボランティアの活用など、地域をあげて子どもたちを育てる学校や地域の仕組みづくりを推進した。
118	3	学校支援ボランティア制度の推進	生涯学習で身につけた経験や特技などを、子どもたちや学校のために活かせる仕組みづくりを構築する。 また、ボランティアのスキルアップのための研修会や交流会を実施する。	津山市教育委員会	随時	市内各小中学校	一般市民	3,000人	2004人	学校教育課	△	各小中学校において、地域学校協働活動推進員を中心に、学校支援ボランティアの活用など、地域をあげて子どもたちを育てる学校と地域間の仕組みづくりの構築に努めた。
119	4	学校支援ボランティア研修会	学校支援ボランティアの資質向上を通じて、地域学校協働活動の啓発と促進を図る。	津山市教育委員会	11月頃	市内	学校支援ボランティア等	30人	17人	学校教育課	△	津山市地域学校協働活動推進員等を対象に、研修会を実施した。内容：地域学校協働活動の留意点、日頃の実践の成果や課題等についての情報交換、好事例紹介、コミュニティ・スクール導入準備について等

事業番号	基本施策	事業名	事業目的・事業内容等	主催者	実施年月日	実施場所	対象者	R3計画 参加予定人数 (評価基準値)	R3実績 (参加人数等)	担当部課室名	事業評価 (達成度)	備考等
120	3	英語暗唱大会	21世紀を担う中学生の英語に対する興味・関心と国際意識の高揚を図り、国際人としての基礎的人間性の育成に寄与する。	英語暗唱大会実行委員会	—	—	—	—	—	学校教育課	×	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
121	3	家庭教育推進事業	基本的な生活習慣の乱れ、社会的規範意識の低下など、家庭教育力の低下が指摘されているなか、一人ひとりの親が家庭を見つめ直し、それぞれ自信をもって子育てに取り組むことができるよう、親に対する学習機会の提供を行う。	津山市教育委員会	随時	市内幼・保・小・中学校等	幼保・小中学生の保護者	2,000人	3,526人	学校教育課	○	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、開催できなかった講座もあったが、時期をずらすなど工夫して開催した。
122	3	家庭教育支援指導者研修会	子育てワークショップのファシリテーターやボランティアなど、家庭教育支援者の養成と資質の向上を図るため、研修会・交流会を開催する。	津山市教育委員会	年1回	市内	家庭教育指導者	20人	35人	学校教育課	○	健康増進課と連携して実施した。 2/21(月)子育て支援者研修会「子育て中の保護者の心の仕組みと支援者のセルフケアについて」
123	5	つやま子ども未来塾	ふるさと津山の歴史・文化・観光資源等を学ぶことにより、自分の住んでいるまちを誇りに思い、津山市の歴史や文化、観光を発信、PRできる人材を育成する。	津山市教育委員会	年11回	市内各所	小学生・中学生(親子)	15人/回	24人/回	学校教育課	○	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、定員を減らし3密を回避して実施した。 アンケート実施(満足度100%)
124	3	放課後子ども教室	放課後や土日、長期休業中などに主に小学生を対象に、地域の協力を得て居場所づくりを進め、体験学習や地域学習のほか、学習支援なども進める。	津山市教育委員会	随時	市内20カ所	小学生	18教室	17教室	学校教育課	○	教室の指導者等の高齢化などにより、休止した教室があり、17教室で開催した。
125	3	夏休み親子料理教室	食への関心を高めることを目的に親子で楽しく料理をしたり調理の基礎知識を身に付ける機会を提供する。 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から未実施とし、代替としてレシピ集作成・配布	岡山県学校給食会 津山市学校給食会 津山市教育委員会	7月	各小中学校	小学生及びその保護者	小学校27校 中学校8校	小学校27校 中学校8校	保健給食課	○	予定どおり実施 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、代替としてレシピ集「おうちde簡単クッキング」を作成・配布した。あわせて市ホームページへ掲載した。
126	1	学校食育センター見学	津山市立学校食育センターの見学を通じて、学校給食への理解を深めることを目的に、希望に応じて実施する。 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から対象を限定して実施	津山市教育委員会	随時	津山市立学校食育センター	園児 小中学生	幼稚園2園 小学校2校	幼稚園2園 小学校6校	保健給食課	○	新型コロナウイルス感染防止対策として対象を限定して実施した。

事業番号	基本施策	事業名	事業目的・事業内容等	主催者	実施年月日	実施場所	対象者	R3計画 参加予定人数 (評価基準値)	R3実績 (参加人数等)	担当部課室名	事業評価 (達成度)	備考等
127	3	吉井川漁協との連携事業 親子料理教室	親子の交流、男性家事参加、地域学習を目的に、吉井川漁業協同組合と連携し、親子料理教室を実施	津山市教育委員会 津山市学校給食会	—	—	—	—	—	保健給食課	×	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。
128	3	つやま子ども野外塾	野外活動の基礎的技術の習得、キャンプを通じた実践などの体験活動を通じ、参加者が友情を深めながら心身ともに成長することを図る。	津山市子ども会連合会	—	—	—	—	—	次世代育成課	×	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
129	1	子どもまつり事業	関連団体と連携して子どもたちの健全育成を図る。	津山市子どもまつり実行委員会	11月14日 11月23日	グリーンヒルズ津山 美作大学	幼児・小学生・保護者	延200人	817人	次世代育成課	○	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、参加者名簿の作成、受付時の検温・手指消毒を実施し、3密を回避して開催した。 アンケート実施(今後も参加したい96%)
130	3	津山っ子こころのふれあいトーク	大人と中学生との意見交換を通じて、健全育成活動の充実を図る。	津山っ子を守り育てる市民の会	12月11日	津山市総合福祉会館	成人 中学生	100人	54人	次世代育成課	○	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、発表は事前録画とするとともに、来場定員を減らし3密を回避して実施した。 100人⇒45人 アンケート実施(得たものがあつた90%)
131	1	教育講演会	不登校やいじめ等、教育問題を中心に、子どもたちの社会的自立に資するため、主に子育て世代や教育関係者と一緒に考えるための講演会。	津山市教育委員会	—	—	—	—	—	次世代育成課	×	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
132	1	心の子育てフォーラム	子どものこころの問題を中心に、子どもたちの生きる力を育むため、主に子育て世代と一緒に考えるための講演会	津山市教育委員会	11月中旬	市内	一般市民	50人	—	次世代育成課	×	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止